

総務文教常任委員会

R 7 . 5 . 2 6 (月)

午前 1 0 時 0 0 分～

全員協議会室

1 開 議

2 案 件

(1) 行政報告

市長公室

○トルスカヴェーツ市（ウクライナ）との交流開始について

教育部

○図書館中央館でのふれ愛教室開設について

総務部

○防災拠点施設（仮称）「かめおか防災広場」の設置について

生涯学習部

○令和 6 年度馬路文化センター、馬路老人センター及び馬路児童館耐震
診断結果について

○令和 6 年度亀岡市人権問題に関する市民意識調査報告について

○令和 6 年度亀岡市男女共同参画に関する市民意識調査報告について

3 その他

(1) 令和 7 年度他都市先進地行政視察まとめ

(2) 次回の日程等について

令和7年5月

総務文教常任委員会

【市長公室】

資料

トルスカヴェーツ市（ウクライナ）との交流開始について

トルスカヴェーツ市（ウクライナ）との交流開始について

2025. 5. 26

秘書課

亀岡市はクニッテルフェルト市（オーストリア）、ジャンデーラ市（ブラジル）、スティルウォーター市（米国）と姉妹都市盟約を、蘇州市（中国）と友好交流都市盟約を締結し、スタディアブロードプログラム（中学生海外派遣研修事業）や訪問団の相互派遣などを行い、交流を重ねているところです。

今年2月、ウクライナとの交流をもつ市内NPO法人の推薦もあり、大阪・関西万博を契機とした「万博国際交流プログラム」事業（内閣官房）に、亀岡市はウクライナを相手国として登録。万博を盛り上げると同時に、亀岡市民に対する国際理解及び平和学習を推進するため、ウクライナとの国際交流事業を実施することとなりました。

交流に向けた調整を進める中で、ウクライナ西部のトルスカヴェーツ市（Truskavets）より、亀岡市との強い交流希望が寄せられたことから、次のとおりトルスカヴェーツ市との交流を開始します。

● トルスカヴェーツ市訪問団の亀岡市受入

期 間： 令和7年7月16日（水）～7月22日（火）＜7日間＞

メンバー： トルスカヴェーツ市長 アンドリー・クルチンスキー氏
市議会議員（兼国際交流部部長） ルスラン・プリスタイ氏
顧問（元外交官） ヴァディーム・スイチャチェンコ氏
通訳 オクサーナ・ピスクノーヴァ氏

交流内容： 市長・議長・教育長表敬訪問、市内視察、
蒔田野小学校訪問交流、友好記念シンポジウム など

滞在スケジュール（予定）：

	と き	内 容
1	16日（水）	亀岡市 着
2	17日（木）	蒔田野小学校・市内NPO訪問、市内視察、 市長・議長・教育長表敬訪問、訪問団歓迎会
3	18日（金）	大阪・関西万博 訪問（ウクライナ館など）
4	19日（土）	視察（調整中）
5	20日（日）	視察（調整中）
6	21日（月・祝）	友好記念シンポジウム
7	22日（火）	亀岡市 発（帰国）

● 亀岡市×トルスカヴェーツ市友好記念シンポジウム

日 時： 7月21日（月・祝）午後1時30分から

場 所： ガレリアかめおか2階大広間

内 容： 【友好合意書調印式】

桂川市長、クルチンスキー市長

【第一部】特別講演（調整中）

講師：岡部芳彦 氏＜神戸学院大学教授・在神戸ウクライナ
名誉領事館領事＞

【第二部】パネルディスカッション（調整中）

パネリスト：桂川市長、クルチンスキー市長

ファシリテーター：岡部芳彦 氏

*その他写真パネル展、ウクライナ民芸品展示等を検討中

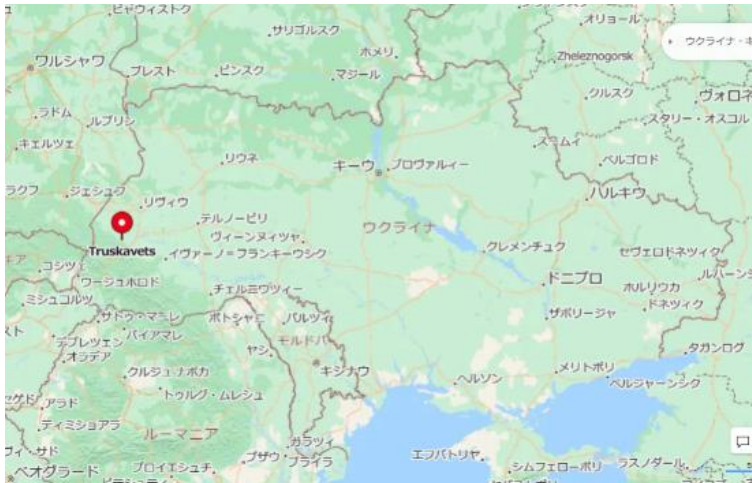
定 員： 250人程度

そ の 他： 広報かめおか7月号で広報予定

トルスカヴェーツ市（Truskavets）

ポーランドとの国境に近い、ウクライナ西部リヴィウ州の市。
温泉療法を行う保養地として古くから有名で、療養施設やリハビリセンターも
多い。優れた効能を持つ鉱泉・ミネラルウォーター「ナフトウシャ（「石油」
の意。温泉が独特なにおいを持つため）」で知られる。現在トルスカヴェーツ
市には多くのウクライナ国内からの避難民が滞在している。

〔面積：約8㎢、人口：約28,300人（2022年）〕



【ウクライナとの交流経過（すべて令和7年）】

- 2月21日 万博国際交流プログラムにウクライナを交流相手国として登録
- 4月3日 在神戸ウクライナ名誉領事館（岡部教授）を訪問
- 4月8日 トルスカヴェーツ市クルチンスキー市長からの親書を収受
- 4月14日 テチャーナ・ベレジュナ経済副大臣が亀岡市長を表敬訪問
- 4月24日 ピスクノーヴァ氏とオンライン会議
- 4月25日 蒔田野小学校の児童が大阪・関西万博を訪問（校外授業）し、ウクライナ館を見学。万博担当者と交流し、マリーゴールドの種をプレゼントされる。
- 4月28日 保津小学校の児童が大阪・関西万博を訪問（校外授業）し、ウクライナ館を見学。万博担当者と交流し、マリーゴールドの種をプレゼントされる。
- 4月30日 プリスタイ氏、スィヂャチェンコ氏、ピスクノーヴァ氏とオンライン会議
- 5月16日 ピスクノーヴァ氏とオンライン会議
- 5月20日 桂川市長、クルチンスキー市長がオンライン対談。交流開始について合意。

<今後の予定>

- 6月30日 トルスカヴェーツ市写真展を開催（7月31日まで@市役所エントランス）
- 7月16日 トルスカヴェーツ市訪問団 亀岡市訪問受入（22日まで）
- 7月21日 亀岡市×トルスカヴェーツ市友好記念シンポジウムを開催
友好合意書調印、特別講演（岡部芳彦教授）、パネルディスカッションを計画
- 8月5日 大阪・関西万博「ウクライナナショナルデー」に桂川市長が出席（招待）
- 8月24日 ワールドフェスタ「亀岡万博（仮称）」開催【共催：亀岡国際交流協会】
本市の姉妹都市・友好交流都市のほか、ウクライナパビリオンや文化紹介、ウクライナ文化に関するワークショップを実施する。

総務文教常任委員会 資料

令和7年5月26日（月）

教 育 部

図書館中央館3階でのふれ愛教室開設について

不登校の子ども達が増える中、ふれ愛教室への在籍人数も年々増加、今後もニーズが増えることが見込まれる状況となっています。

現在、ふれ愛教室への登室手段は、開設場所の関係から、公用車で送迎か保護者による送迎が必要で、登室しやすい環境整備のため、交通アクセスが良い、市街地域(街中)での開設について検討していくため、令和7年度、パイロット事業として図書館中央館3階でふれ愛教室を試行的に開設することとします。

ふれ愛教室		
開設場所	みらい教育リサーチセンター内	図書館中央館3階 小会議室【6月開設予定】
開設曜日	月・火・水・木曜日	火・水・木曜日
開設時間	【1部制】 9:30～15:00 ※木曜日は12:00まで	【3部制】 ① 9:30-11:30 ② 13:00-15:00 ③ 9:30-15:00 ※木曜日は①のみ
活動内容	・安心して過ごせる居場所 ・個々の状況に応じた学力の補充 ・体験や活動を通し、豊かな人間関係がにつくれる力の育成	・安心して過ごせる居場所 ・個々の状況に応じた学力の補充
登室手段	開設場所まで安全な方法で、各家庭で責任を持って行う。	
	市が運行する公用車 保護者送迎	徒歩、自転車、公共交通機関 保護者送迎
その他	・弁当持参	・図書館のルールが守れる ・弁当持参も可 (おにぎり、パンなど。カップ麺などの汁物、飛び散る食べ物×。)

※図書館中央館3階の小会議室を専有して開設。5～7名程度の受入が可能と考えています。

※ふれ愛教室に在籍しているが、登室ができておらず、何も支援が受けられていない生徒を中心に図書館の利用を案内。また、ふれ愛教室に在籍し登室できている生徒も、その日の状況でどちらの開設場所も利用できるよう図書館の利用について案内していこうと考えています。

※図書館での開設は、パイロット事業として令和7年度試行的に実施、多くの希望があった場合は受け入れ体制が整わないことが想定されるため、学校から保護者へ図書館での開設について伝える場合は、事前に学校とみらい教育リサーチセンターが連携し受け入れについて調整をしていきます。

※社会見学や体験活動については、一緒に実施することを検討していきます。

令和 7年 5月 26日

総務文教常任委員会

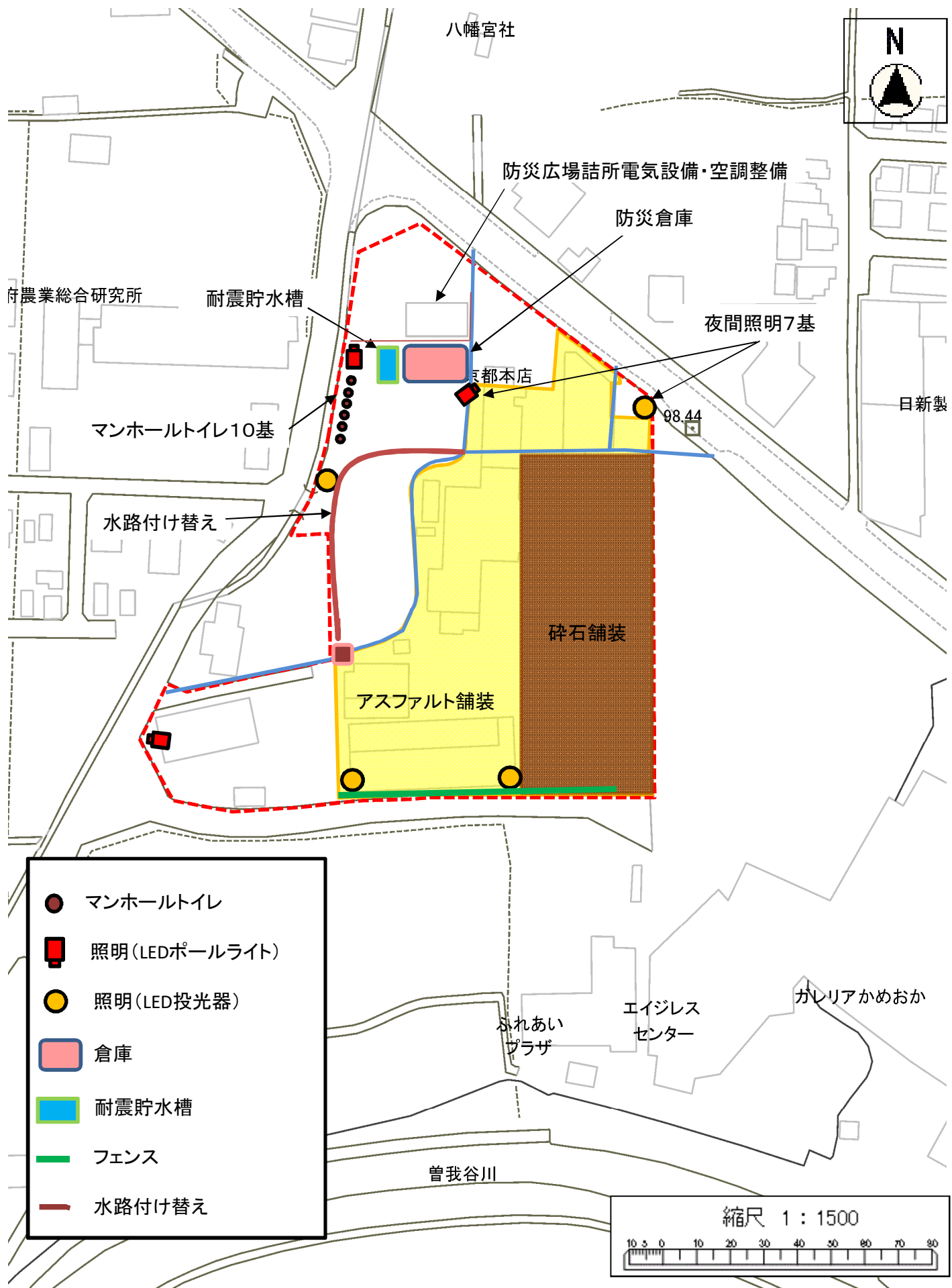
【 行 政 報 告 】

総務部

防災拠点施設(仮称「かめおか防災広場」)の設置について

事業内容	京都農業協同組合の本店及び亀岡中央支店の跡地について、防災拠点施設として「かめおか防災広場」を整備する。
設置場所	亀岡市余部町天神又2ほか(旧京都農協本店等跡地)
設置理由	この場所は、市域の中心に位置し、指定避難所及び道の駅でもあるガレリア亀岡に隣接しており、災害時には多くの被災者が避難して来るものと考ええる。 また、緊急輸送道路でもある国道9号に面しており、救助物資等の備蓄拠点又は集積拠点にもなっている。災害時には、多くの大型車両などが集まるとともに、救助物資の受入場所として確保する必要もある。 さらに、隣接する亀岡市社会福祉協議会が、災害ボランティアセンターを運営するためにも、災害ボランティアが集まれる場所を確保しておくことが重要である。
整備概要	基本的には、災害時に臨機応変な対応が可能となるよう、広い場所として確保し、平常時は、近隣施設の臨時駐車場などとして活用する。 そのため、災害時に救助物資を集配できる集出荷倉庫を確保するとともに夜間照明などを整備する。
事業計画	災害時において、指定緊急避難場所・指定避難所で、緊急輸送道路に隣接する救助物資等の集積拠点でもある「ガレリアかめおか」の機能を補完し、避難者や支援団体の受入れや物資の配送拠点として活用するとともに、亀岡市社会福祉協議会が開設する災害ボランティアセンターの運営拠点としての利用を計画する。 なお、平常時においては、近隣施設の臨時駐車場や各種イベント等の会場として利用する。

整備内容	防災広場詰所(電気設備工事) 防災倉庫(小規模)1 棟 夜間照明7基 マンホールトイレ 10 基 耐震貯水槽 1 基 水路の付け替え アスファルト舗装(一部碎石舗装) フェンス設置	
財源	緊急防災・減災事業債 (充当率100%、交付税算入率70%) (ア)大規模災害時の防災・減災対策のために必要 な施設の整備 b 防災資機材等備蓄施設及び拠点避難地 夜間照明や備蓄倉庫等を併設した大規模災 害発生時の避難地となる施設	令和7年度終了予定
スケジュール	令和6年度 令和7年度	事業計画、用地取得 実施設計、整備工事



令和 7 年 5 月
総務文教常任委員会

【生涯学習部】

資料

- 令和 6 年度馬路文化センター、馬路老人センター及び馬路児童館耐震診断結果について【資料①】
- 令和 6 年度亀岡市人権問題に関する市民意識調査報告について【資料②】
- 令和 6 年度亀岡市男女共同参画に関する市民意識調査報告について【資料③】

令和6年度 馬路文化センター、馬路老人センター及び 馬路児童館耐震診断結果について

1 診断結果

(馬路文化センター)

次を除き、全て Is 値=0.6 以上(耐震性あり)

⇒一部脆弱部(Is 値=0.56)…施設入口から上層階への開口部(吹抜け)周辺

(馬路老人センター)

次を除き、全て Is 値=0.6 以上(耐震性あり)

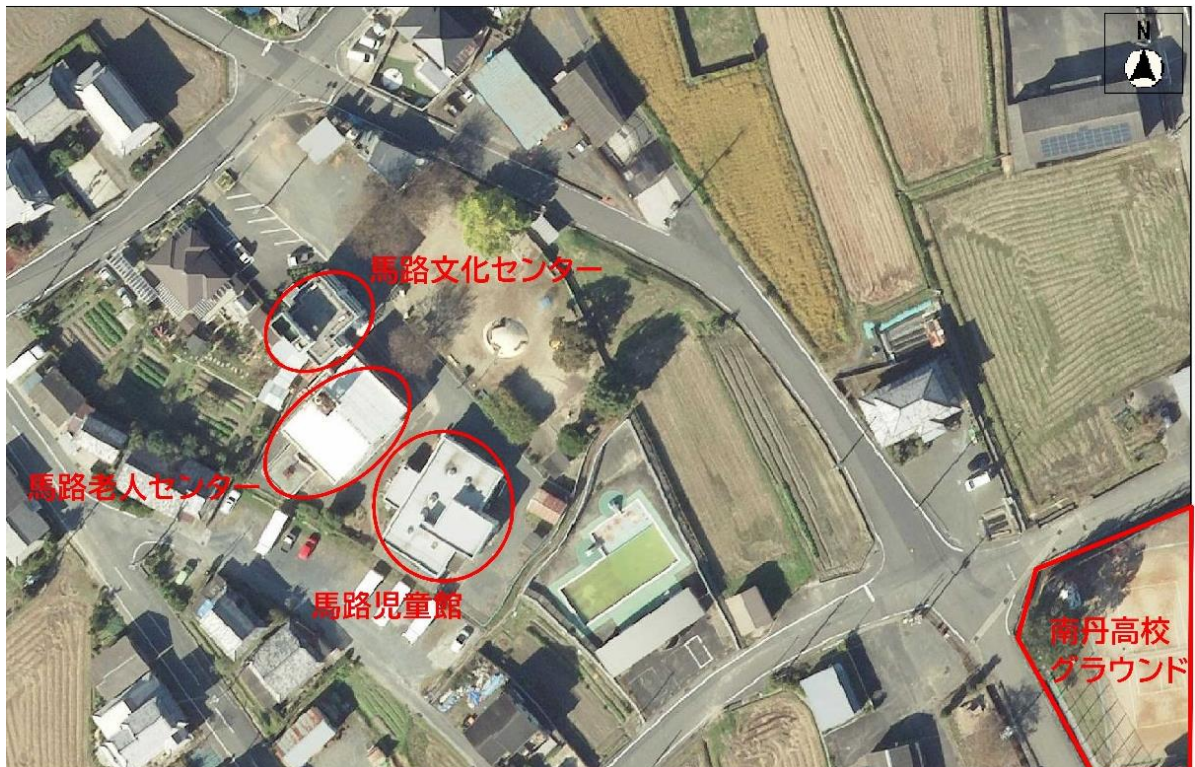
⇒一部脆弱部(Is 値=0.308)…1階 湯沸室周辺

(馬路児童館)

全て Is 値=0.6 以上(耐震性あり)

2 対応について

馬路文化センター及び馬路老人センターは、将来的に除却する予定。



令和6年度 亀岡市人権問題に関する市民意識調査報告について

● 調査目的

亀岡市人権尊重推進条例第7条に基づき、人権施策に関する基本計画を策定するにあたり、人権に関する意識、関心及びそれらの動向を把握し、基礎資料とすることを目的に実施した。

また、今回実施した意識調査を基に、令和7年、8年の2カ年で人権施策に関する基本計画の策定に取り組んでいく。

● 調査対象

亀岡市内に居住する18歳以上の市民1,000人を住民基本台帳から無作為抽出

● 調査方法

郵送による配布・回収、またはWEBによる回答

● 調査期間

令和6年11月20日(水)～12月13日(金)

● 回収状況

回収数 392件、有効回答者数 386件、有効回答率 38.6%

(前回調査(平成20年度。以下同じ)有効回答率 40.1%)

● 亀岡市人権問題に関する市民意識調査の概要

◆ 人権に関する考え方や認識(新規設問)

【問1】あなたの人権意識は、10年前と比べて高くなっていると思いますか。

項目	今回	前回
そう思う、どちらかといえばそう思う	64.5%	—
どちらともいえない	21.0%	—
どちらかといえばそう思わない、そう思わない	8.5%	—

自身の人権意識が10年前と比較して高まっていると評価する人が全体のおおよそ3分の2を占める。

【問2】あなたが特に関心のある人権問題は何ですか。【複数回答、上位5項目】

項目	今回	前回
障がいのある人の人権問題	53.1%	—
インターネットによる人権侵害	51.6%	—
女性の人権問題	47.4%	—
ハラスメント全般に関する問題	47.2%	—
子どもの人権問題	45.3%	—

その他の主な項目については、部落差別(同和問題)が23.6%、LGBTQ+の人の人権問題が22.0%、外国籍の人の人権問題(ヘイトスピーチ等)が19.7%である。

◆ 人権侵害について

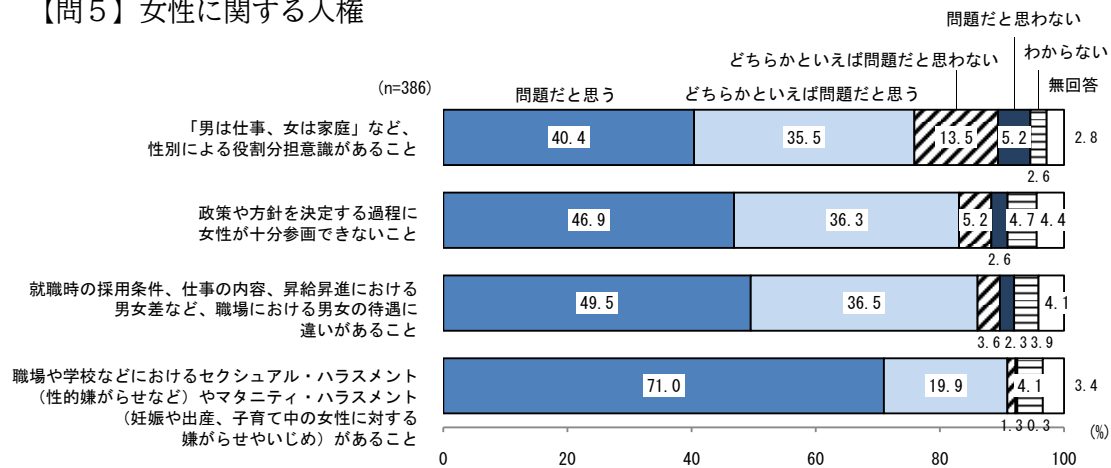
【問4】あなたは過去5年ほどの間に、自分の人権が侵害されたと感じたことはありますか。

項目	今回	前回
ある	19.4%（あらぬうわさ・悪口・陰口・侮辱・パワハラ・カスハラが上位）	22.8%
ない	64.8%	74.1%

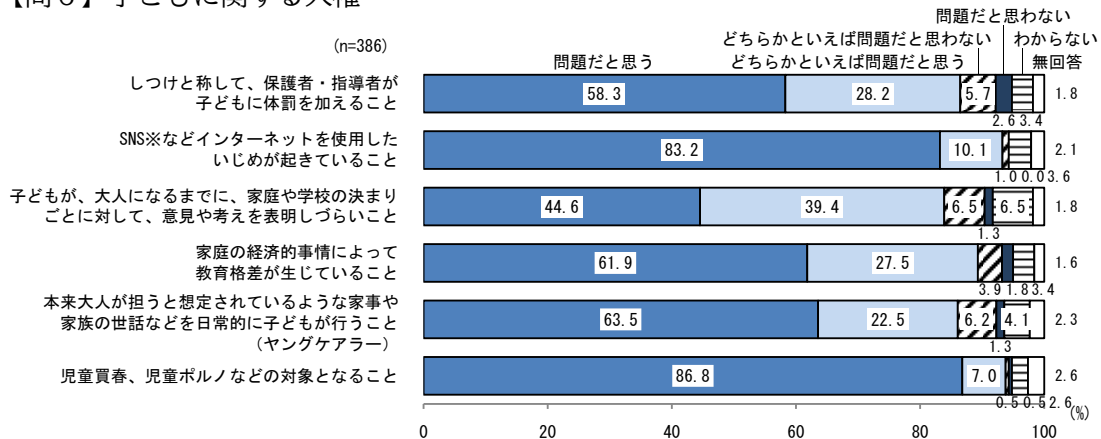
前回調査(74.1%)と比較すると、「ない」と回答した人の割合が9.3ポイント低くなっている。

◆ 様々な人権に関する考え方や認識

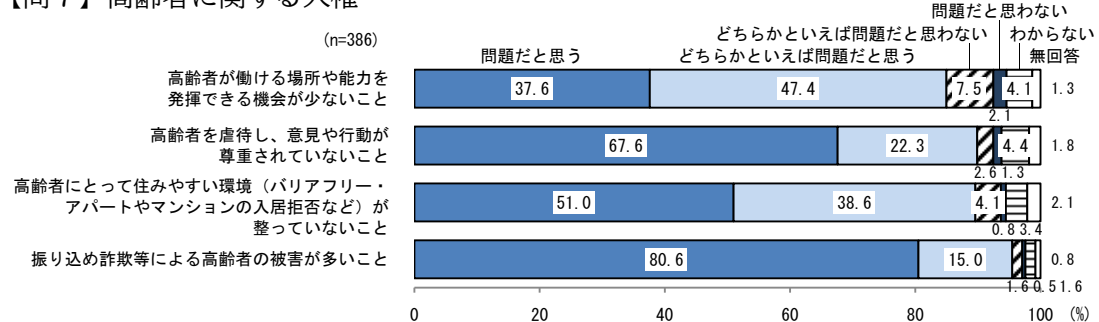
【問5】女性に関する人権



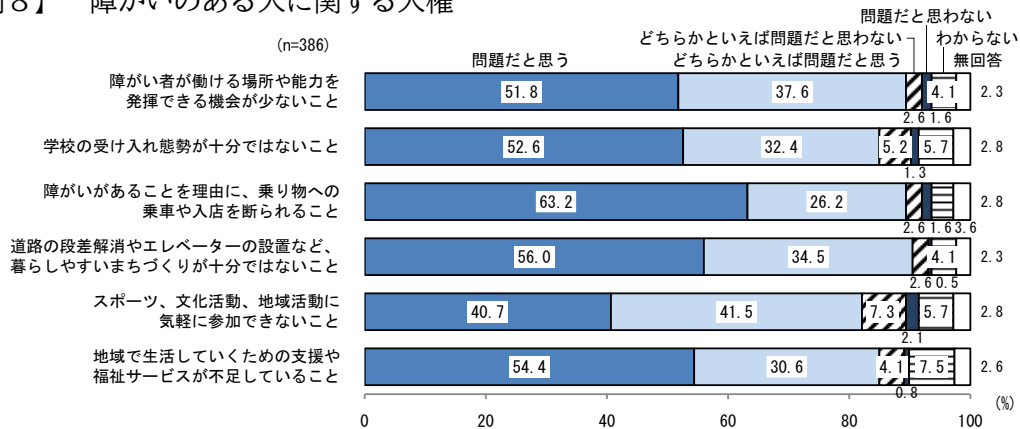
【問6】子どもに関する人権



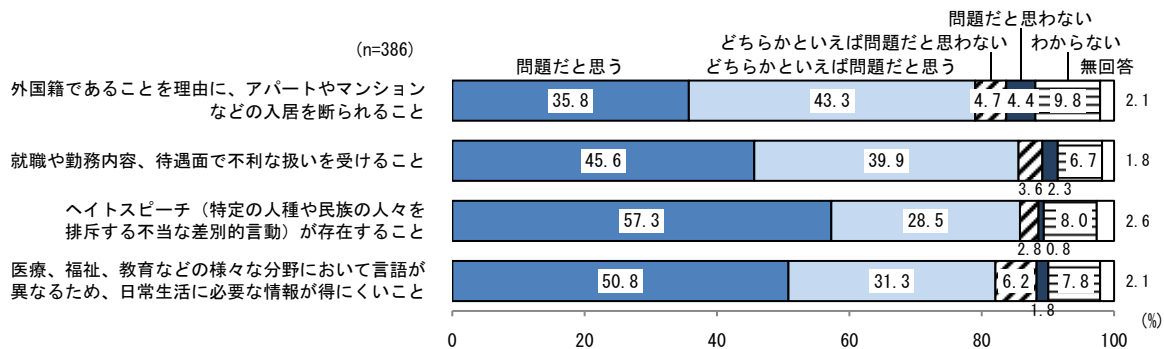
【問7】高齢者に関する人権



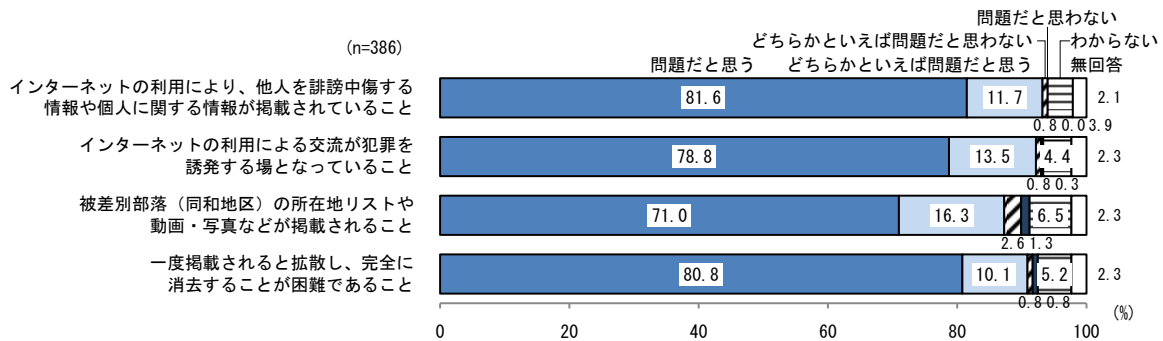
【問 8】 障がいのある人に関する人権



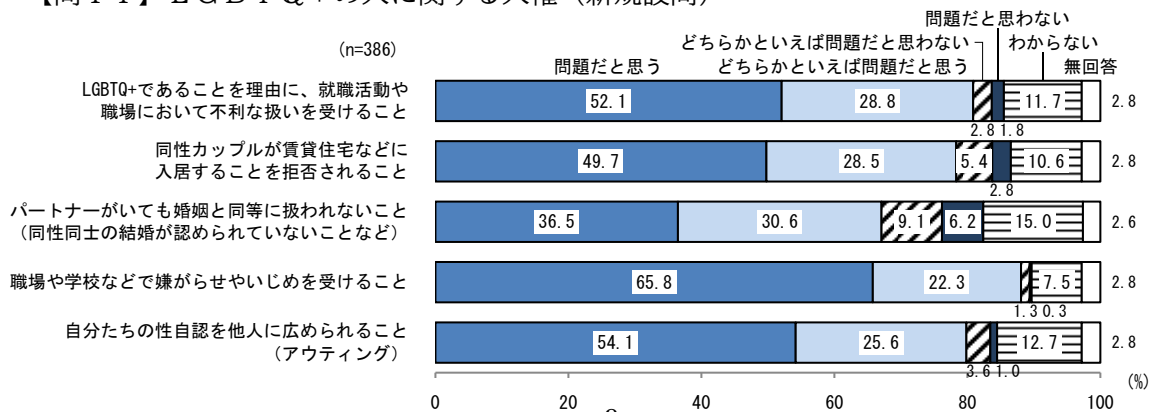
【問 9】 外国籍の人に関する人権



【問 10】 SNSやブログ等を含むインターネットの利用と人権（新規設問）



【問 11】 L G B T Q + の人に関する人権（新規設問）



【問１２】被差別部落（同和地区）や被差別部落（同和地区）の人々について、差別があると思いますか。（新規設問）

項目	今回			前回
	差別がある	差別がない	わからない	
引っ越しや住宅の購入等に関して	15.0%	43.3%	39.4%	—
就職について	16.8%	42.5%	38.3%	—
結婚について	27.8%	34.4%	35.5%	—
日常の交流や交際	15.5%	50.0%	32.6%	—

※「差別がある」：「明らかな差別がある」と「どちらかといえば差別がある」を合算
「差別はない」：「差別はない」と「ほとんど差別はない」を合算

【問１５】部落差別（同和問題）の解決に対する考え方

項目	今回	前回
わからない	30.8%	21.2%
基本的人権に関わる問題だから、自分も問題の解決に向けた努力をするべきだ	25.9%	19.8%
自分ではどうしようもない問題だから、国や市が解決してくれる	13.5%	9.0%
そっとしておけば、自然になくなる	11.7%	—
自分ではどうしようもない問題だから、成り行きに任せたら良い	4.4%	9.4%
これは被差別部落の人だけの問題で、自分とは関係がない	1.0%	2.9%

前回調査(19.8%)と比較すると、「基本的人権にかかわる問題だから自分もこの問題の解決に向けた努力をするべきだ」と回答した人の割合が6.1ポイント高くなっている。

◆ 人権が尊重される社会づくりに求められること

【問１８】人権が尊重される社会を実現するために必要な施策（新規設問）

項目	今回	前回
学校等における人権教育を推進する	64.2%	—
企業、事業所における人権尊重に向けた取組を支援する	37.6%	—
人権侵害行為を規制する法を整備する	34.2%	—
人権侵害に対する相談体制を推進する	33.9%	—
人権侵害に対する支援体制を推進する	32.9%	—

「学校等における人権教育を推進する」の割合が圧倒的に高いことから、人権教育への期待が特に高いと考える。

令和6年度 亀岡市男女共同参画に関する市民意識調査報告について

● 調査目的

今後の男女共同参画に係る施策の方向性について検討するため、本市民意識調査を実施し、男女共同参画における啓発がどのように浸透しているのか、また啓発方法等、実施している事業の課題を把握することを目的に実施した。

● 調査対象

亀岡市内に居住する18歳以上の市民1,000人を住民基本台帳から無作為抽出

● 調査方法

郵送による配布・回収、またはWEBによる回答

● 調査期間

令和6年11月20日(水)～12月13日(金)

● 回収状況

回収数 382件、有効回答者数 380件、有効回答率 38.0%

(前回調査(令和元年度。以下同じ)有効回答率 34.3%)

● 亀岡市男女共同参画に関する市民意識調査の概要

◆ 男女平等意識

【問1】次の分野で男女平等になっていると思いますか。

『男性の方が優遇されている』(「どちらかといえば男性の方が優遇されている」を含む)と回答した人の割合：上位3項目

項目	今回	前回
政治の場	76.1%	73.2%
社会通念・慣習・しきたりなど	75.8%	76.3%
社会全体のなかで(市民活動を含む)	58.2%	57.5%

『女性の方が優遇されている』(「どちらかといえば女性の方が優遇されている」を含む)と回答した人の割合：上位3項目

項目	今回	前回
自治会など地域活動の場	7.6%	8.8%
法律や制度	7.1%	9.6%
職場	6.6%	7.5%

『平等である』と回答した人の割合：上位3項目

項目	今回	前回
学校教育の場	47.6%	46.9%
家庭生活	35.3%	31.8%
自治会など地域活動の場	31.6%	30.9%

「平等である」と回答した人が、前回調査と比べてわずかではあるが増加していることから、少しずつ男女共同参画における啓発が進んでいることがうかがえる。

◆ 性別による役割分担意識に対する考え

【問2】性別による役割分担意識があることについて、あなたのお考えに近いものはどれですか。

項目	今回	前回
問題だと思う（「どちらかといえば問題だと思う」を含む）	75.3%	56.9%
問題だと思わない（「どちらかといえば問題だと思わない」を含む）	20.0%	32.1%
わからない	3.7%	10.5%

性別による役割分担意識が少しずつ変わってきていることがうかがえる。

◆ 家庭生活・子育てについて

【問3】主に、男性、女性のどちらが行っていますか。

『主に男性が行っている』と回答した人の割合：上位3項目

項目	今回	前回
生活費（年金を含む）の確保	41.3%	44.0%
高価な商品や土地、家屋の購入決定	36.8%	39.1%
地域の行事への参加、自治会活動	27.1%	30.9%

『主に女性が行っている』と回答した人の割合：上位3項目

項目	今回	前回
家事（炊事・洗濯・掃除など）	70.8%	70.3%
子育て（子どもの世話、しつけ、教育など）	51.6%	48.7%
会計の管理	51.6%	59.2%
P T A活動	48.2%	50.4%

『共同して分担』と回答した人の割合：上位3項目

項目	今回	前回
高価な商品や土地、家屋の購入決定	42.6%	44.9%
生活費（年金を含む）の確保	35.0%	38.8%
地域の行事への参加、自治会活動	33.9%	39.1%

家事や育児等については、主に女性が担っていることがうかがえる。

◆ 職場の状況について

【問5】あなたの職場では次のようなことはありますか。

上位3項目

項目	今回	前回
男性の方が育児休暇や介護休暇がとりにくい	61.1%	66.5%
能力のある女性でも、男性より就きにくい職種がある	50.7%	43.6%
男性の方が残業が多い	47.8%	42.0%

【問6】男女が共に働きやすい環境をつくるためには、どのようなことが必要だと思いますか。
上位5項目

項目	今回	前回
育児・介護休業などの休業中に所得保障があること	45.8%	40.2%
一度、職を離れても、子育て後には職場復帰しやすくすること	30.0%	25.7%
在宅勤務やフレックスタイム制など柔軟な働き方ができること	25.5%	21.0%
保育サービスなどの子育て支援策を充実すること	24.7%	25.1%
長時間労働を容認する職場の雰囲気を是正すること	21.8%	20.4%

男女ともに、労働の制度面の改善を求める回答が多くなっている。

◆ 配偶者・恋人等からの暴力について

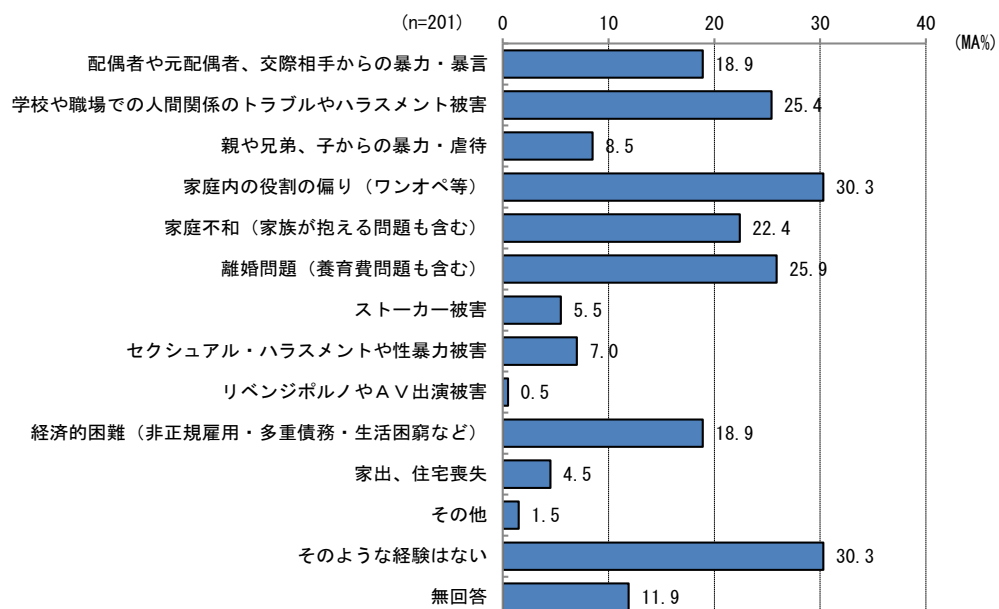
【問7】配偶者（事実婚や別居中を含む）や恋人から、次のようなことをされましたか。
上位3項目

項目	今回	前回
大声でどなられた	22.7%	29.7%
目の前で家具や物を壊したり、投げつけたりして威嚇された	15.3%	16.6%
何を言っても、無視され続けた	14.5%	14.9%

前回調査と比較してわずかに減少しているが、多くの人が暴力を受けた経験がある。

◆ 困難な問題を抱える女性について（新規設問）

【問10】女性が次のような困難な問題を経験したことや、見聞きしたことがありますか。



あなた又は、あなたの周囲にいる女性が困難な問題を経験したことや見聞きしたことがあるかについて、「家庭内の役割の偏り（ワンオペ等）」が30.3%と最も高く、次いで、「離婚問題（養育費問題も含む）」が25.9%、「学校や職場での人間関係のトラブルやハラスメント被害」が25.4%、「家庭不和（家族が抱える問題も含む）」が22.4%、「配偶者や元配偶者、交際相手からの暴力・暴言」と「経済的困難（非正規雇用・多重債務・生活困窮など）」がそれぞれ18.9%となっている。

◆ 災害について

【問 1 4】防災・災害復興対策で性別に配慮して取り組む必要があると思うことは何ですか。

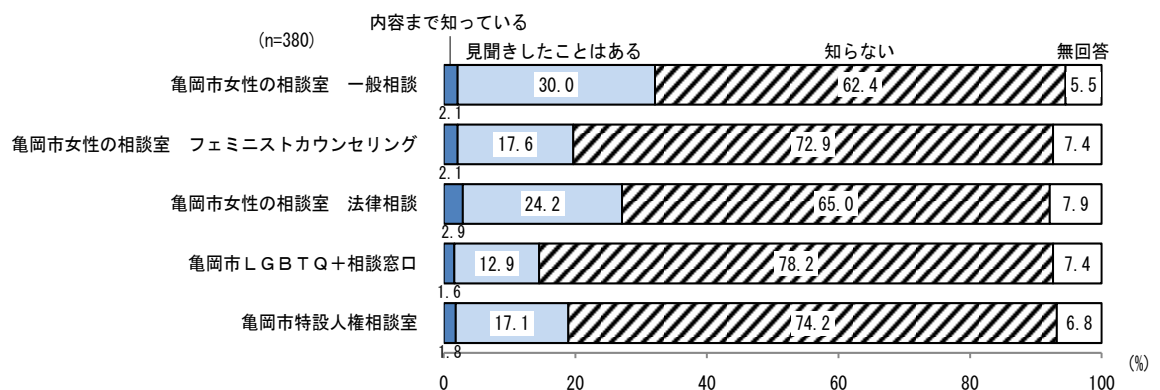
上位 5 項目

項目	今回	前回
避難所の設備（男女別トイレ・更衣室、防犯対策）	86.3%	75.2%
災害時の救急医療体制（診察・治療体制、妊産婦）	46.3%	41.1%
乳幼児、高齢者、障がい者、病人、女性等に対する備えやニーズの把握、支給する際の配慮	41.1%	52.8%
避難所運営の責任者に女性が配置され、被災者対応に男女双方の視点が入ること	35.0%	30.6%
対策本部に女性が配置され、対策に男女双方の視点が入ること	22.6%	25.4%

防災・災害復興対策で男女の性別に配慮して取り組むこととしては、避難所の設備が最も高く、長引く可能性のある避難所生活が心配であることがうかがえる。

◆ 相談室の認知状況について（新規設問）

【問 1 6】相談室について、どの程度ご存じですか。



亀岡市の相談室の認知状況について、「内容まで知っている」と「見聞きしたことはある」を合わせた『知っている』が、「亀岡市女性の相談室 一般相談」で 32.1%と最も高く、次いで、「亀岡市女性の相談室 法律相談」で 27.1%、「亀岡市女性の相談室 フェミニストカウンセリング」で 19.7%、「亀岡市特設人権相談室」で 18.9%、「亀岡市LGBTQ+相談窓口」で 14.5%となっている。